

TOLAC（既往帝王切開後の経膈分娩の試み）の再開について

- ▶ TOLACとは Trial of labor after caesarean section（帝王切開後の経膈分娩の試み）、のことを言い、以前帝王切開で分娩した経験のある妊婦が経膈分娩を試みることをさします。
- ▶ 帝王切開の既往がある妊婦さんは、妊娠中や分娩時に子宮破裂を起こすリスクがやや高いと言われており、帝王切開の既往のある患者さんは、次回妊娠時も帝王切開で出産することが近年多く行われております。
- ▶ しかし、帝王切開での出産は血栓症や羊水塞栓症などによる母体死亡の危険性、多臓器損傷のリスク、開腹手術であり妊婦に大きな負担となることなどのため、近頃アメリカを中心に TOLACが見直されるようになってきました。

当院においても、しばらく既往帝王切開後の妊婦の分娩方針は帝王切開術としていましたが、一定の条件のもと、経膈分娩を試みることにいたしました。

- 当院では 2016 年秋頃まで TOLAC を行っておりましたが、麻酔科との協議によりそれ以降は中止していました。しかし、近頃の TOLAC 見直しの風潮を受け、当院で TOLAC を行った妊婦さんの成功率などを振り返った結果、成功率 95%以上でした。
- TOLAC 成功例も、結局帝王切開術をなった例でも、大きな問題となる母体合併症や新生児合併症はありませんでした。
- 再度麻酔科との協議の上、2021 年 5 月より TOLAC を再開することといたしました。
- 安全に TOLAC を行うにあたり、一定の条件をもうけました。

〈TOLAC を行う際の条件〉

1. 既往帝王切開の回数が 1 回であること。
2. 前回の帝王切開が子宮下部横切開であり、術後の経過に問題がなかったことが確認できること。
3. 前回の帝王切開術の適応が、分娩停止や児頭骨盤不均衡などでは無いこと。
4. 子宮切開部筋層の異常な菲薄が無いこと。
5. 今回の妊娠が双胎・骨盤位・巨大児・肥満妊婦など、帝王切開が望ましい症例では無いこと。
6. 子宮内胎児発育遅延、妊娠高血圧腎症や羊水過少など、胎児機能不全の可能性が高い病態では無いこと。
7. 原発性陣痛微弱などの誘発分娩が必要な病態が無く、自然陣痛、自然分娩であること。
8. TOLAC のリスクを十分に理解し、TOLAC に対し同意を得られること。

※上記を満たしていても総合的判断から実施しない場合もあります。

- TOLAC を希望される方は医師とご相談ください。